


現況検査により認められる状況の記録

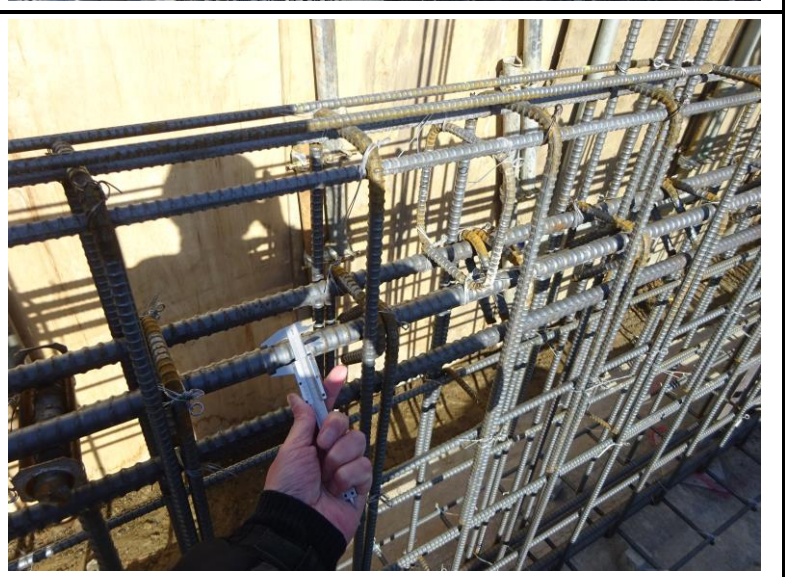
令和5年2月17日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景




令和5年2月17日	
NO	2
場所	A B棟 (B棟)
部位	A X 1 0 ~ B X 6 通り
B棟部分 (A X 1 0 ~ B X 6 通り) の基礎全景。	




令和5年2月17日	
NO	3
場所	B X 1 通り
部位	F G 1 1 (基礎梁)
F G 1 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：2/2-D22)	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	4
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
FG 1 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(下端主筋 : 2/2-D22)	




令和5年2月17日	
NO	5
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端~スラブ天端 : 1,350mm	




令和5年2月17日	
NO	6
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
主筋の圧接継手部が適切な位置(隣り合う主筋の圧接継手位置との間隔:a ≥ 400mm以上)として施工が行われていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

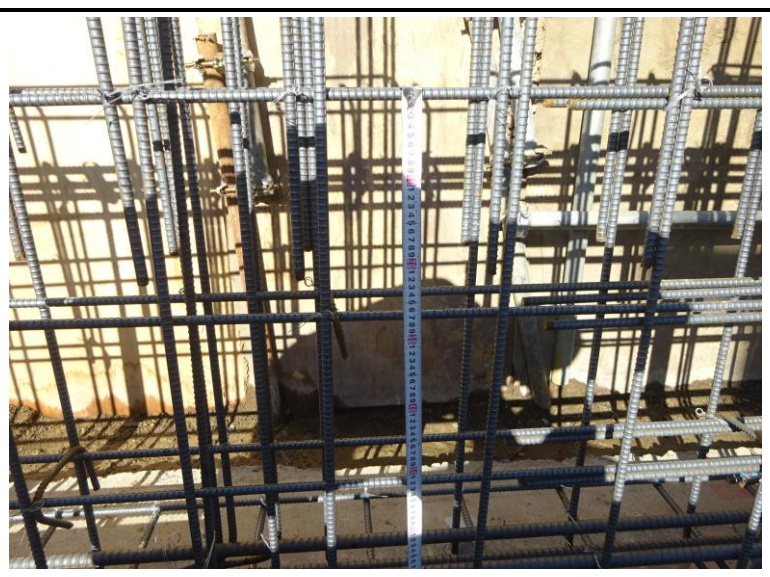
令和5年2月17日	
NO	7
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
FG 1 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@200mm)	




令和5年2月17日	
NO	8
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
せん断補強筋のフック折り曲げ部の余長が適切 (135° : D13×6=78mm以上) であることを確認。	




令和5年2月17日	
NO	9
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
同上。(腹筋：2-D13@300mm以下)	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	10
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
梁天端補強筋が計画通り (通し筋: 2-D13、せん断補強筋: D13@200) であること の他、定着寸法L2 (455mm=D13×35) が確保されていることを確認。	
	



令和5年2月17日	
NO	11
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
同上。	
	


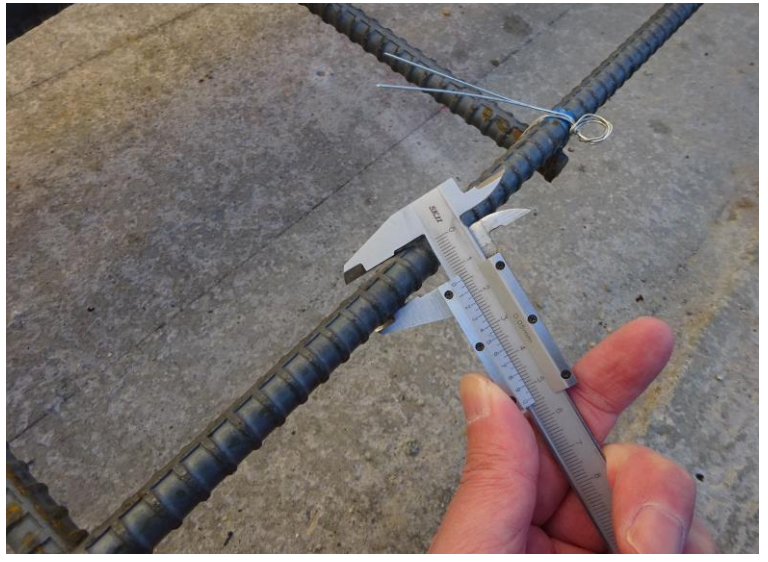


令和5年2月17日	
NO	12
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
フーチング部のベース筋 (D13@200mm) ・配力筋 (2-D13) が計画通りであることを確認。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	13
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
同上。	

令和5年2月17日	
NO	14
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
ベース筋下部には、鉄筋かぶり厚さ (60 mm以上) が適切に確保できるようサイコロ (スペーサー) が設置されていることを確認。	

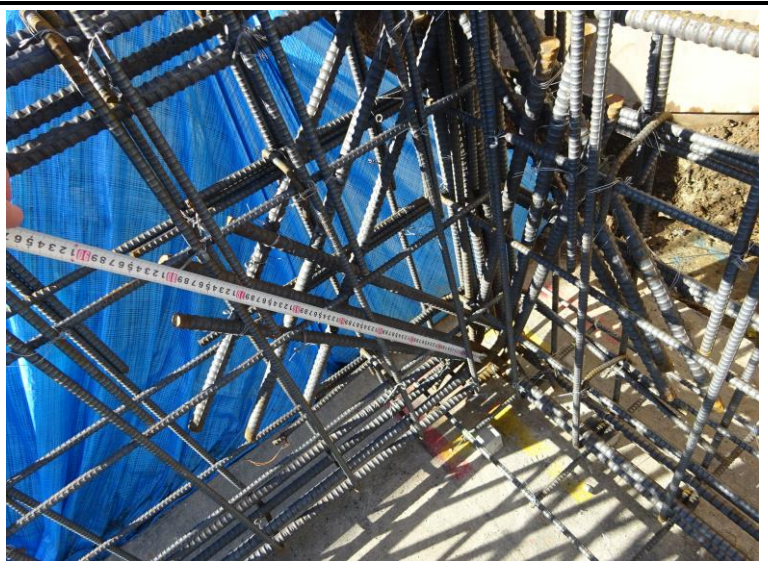




令和5年2月17日	
NO	15
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
前回 (CD棟の基礎配筋検査時) 指摘したようなせん断補強筋の下がりや生じていない状況であることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	16
場所	B X 1, B Y 2 通り
部位	基礎梁接続部
FG 1 1 (基礎梁) ~ FG 1 (地中梁) の接続部では、それぞれの主筋が必要定 着長さ：L2 (D22×35=770mm以上) を 確保していることを確認。	
	



令和5年2月17日	
NO	17
場所	B X 1, B Y 2 通り
部位	基礎梁接続部
同上。	
	


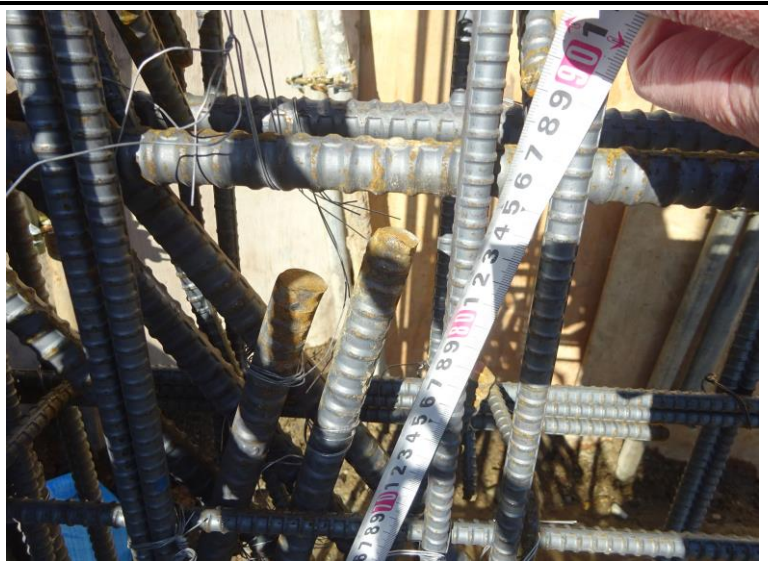


令和5年2月17日	
NO	18
場所	B X 1, B Y 2 通り
部位	基礎梁接続部
同上。	
	

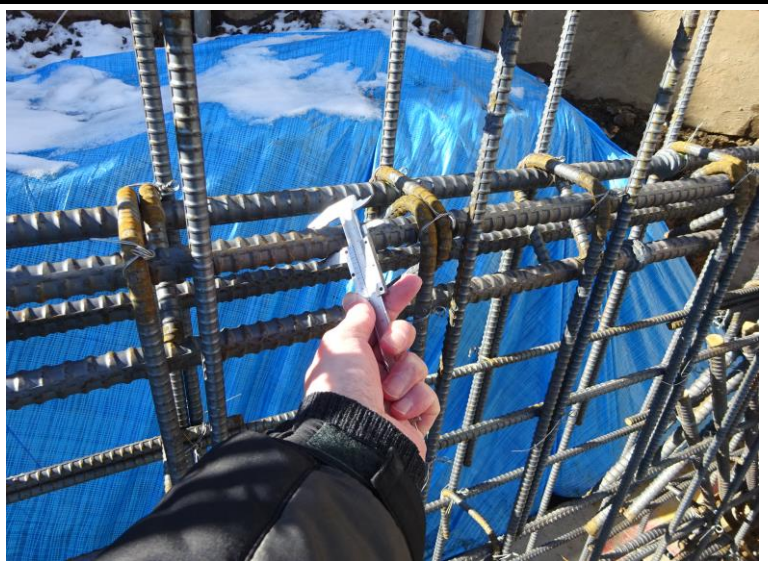


現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	19
場所	B X 1, B Y 2 通り
部位	基礎梁接続部
同上。	

令和5年2月17日	
NO	20
場所	B Y 2 通り
部位	FG 1 (地中梁)
FG 1 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋：2/2-D22)	





令和5年2月17日	
NO	21
場所	B Y 2 通り
部位	FG 1 (地中梁)
同上。(下端主筋：2/2-D22)	

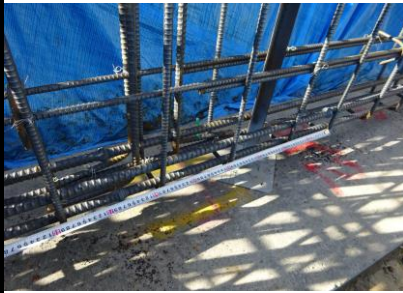



現況検査により認められる状況の記録

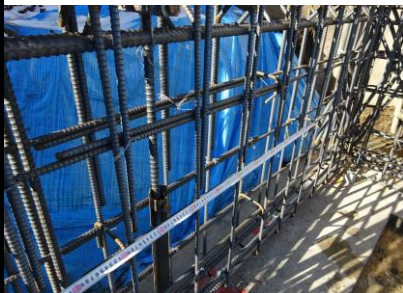
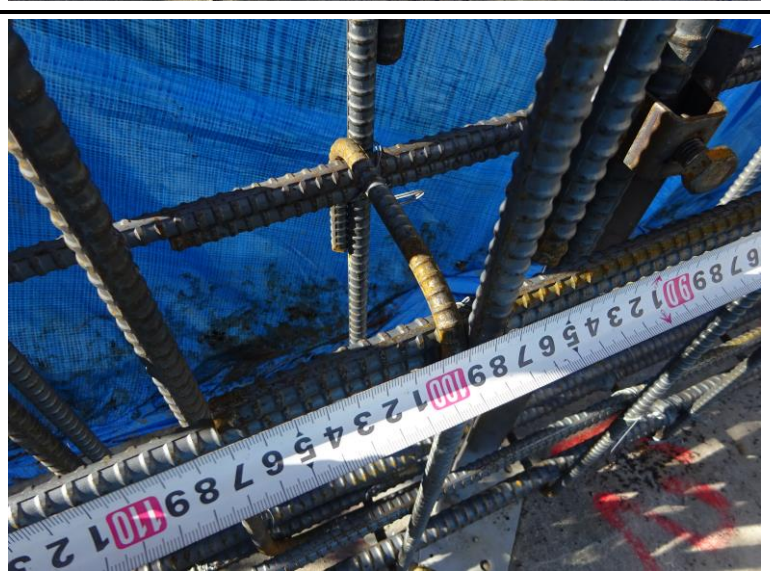
令和5年2月17日	
NO	22
場所	BY2通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@200mm)	




令和5年2月17日	
NO	23
場所	BY2通り
部位	FG1 (地中梁)
主筋の圧接継手部が適切な位置(隣り合う主筋の圧接継手位置との間隔： $a \geq 400\text{m}$ 以上)として施工が行われていることを確認。	




令和5年2月17日	
NO	24
場所	BY2通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1の鉄筋組が計画通りであることを確認。(幅止め筋：D10@1000mm以下)	

現況検査により認められる状況の記録


令和5年2月17日	
NO	25
場所	BY2通り
部位	端部曲げ補強筋
計画通りに端部曲げ補強筋（当該箇所は4-D16）が設置されていることを確認。	




令和5年2月17日	
NO	26
場所	BY2通り
部位	端部曲げ補強筋
同上。	


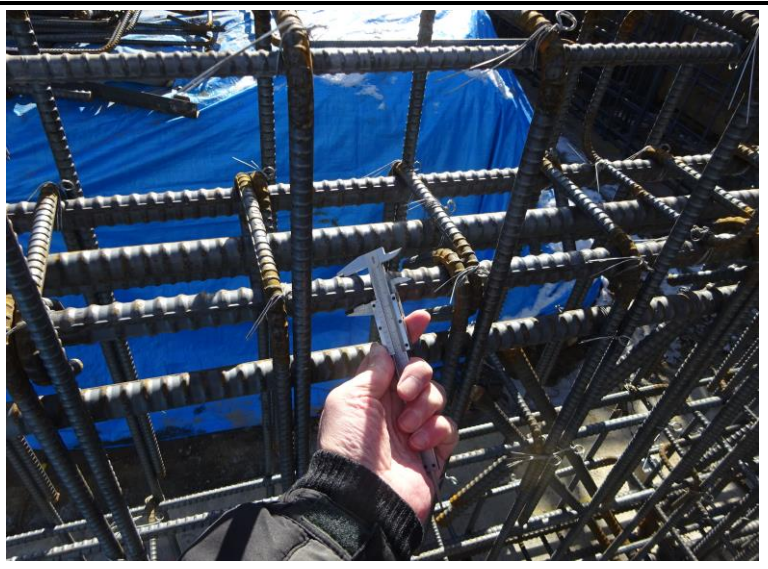



令和5年2月17日	
NO	27
場所	BY2通り
部位	端部曲げ補強筋
同上。端部・交差部曲げ補強筋の折り返し定着長さ（150mm以上）が確保されていることを確認。	

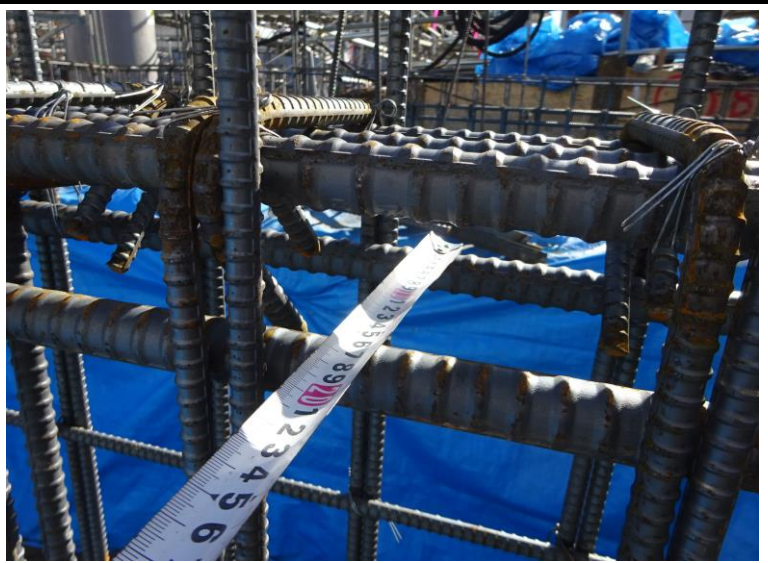



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	28
場所	B X 2 通り
部位	FG 1 3 (基礎梁)
FG 1 3 の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋 : 3/2-D25)	

令和5年2月17日	
NO	29
場所	B X 2 通り
部位	FG 1 3 (基礎梁)
同上。	

令和5年2月17日	
NO	30
場所	B X 2 通り
部位	FG 1 3 (基礎梁)
同上。(下端主筋 : 3/2-D25)	